

# 環境ビジネス 新事業&新分野



竹内久祥社長

ペットボトルも洗浄、乾燥の後、一角程度に破砕、原料化する。

## 販売者責任

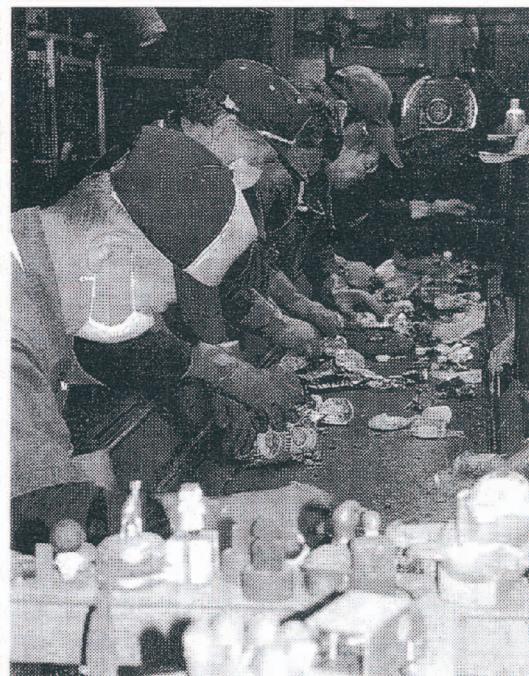
同社がこの事業化に乗り出したのは、取引先から

## クレス名古屋

産廃処理工場が立ち並みやスチールの飲料用空き缶をほぼ100%の高純度原料に再生できる処理工場がある。運営するのは、自動販売機の設置古屋（本社名古屋市、同社長）。工場が操業した二〇〇〇年当時、同社が生み出す再生原料の質の高さに業界が驚きの声を

上げた。事業化から六年。「ぎりぎりの経営状態で、二年前によく單年度黒字を果たした」と、竹内社長は事業を軌道に乗せるまでの苦労を振り返るが、事業を続けてきている。同社は、アルミやスチールなどの飲料缶を自社開発のアラントシステム

# 空き缶、ペットボトルを再生処理



リサイクルできるものとそうでないものは手作業での分別も行われる

で高純度のペレット状原料に戻す。ペレットは再び飲料缶となり、また自動車部品や冷却材など用途の幅を一気に広げた。

空き缶の処理方法について質問を受けたことがきっかけ。「販売者側に

も（空き缶）処理責任

があるのではないか」。

竹内社長は、複数の同業者と共同で事業立ち上げを検討したが、採算面の難しさから降りる会社が続出し、結局、単独事業を決意した。

空き缶（ごみ）処理にわざわざお金を払う人がいるものか、と思われていた頃、実際、費用がかかるなりタダで引き取るところへ持っていくといふ声が多く、空き缶が集まらなかつた。当時、竹内社長は売上高の内訳を

から空き缶の処理方法について質問を受けたことがきっかけ。「販売者側に

も（空き缶）処理責任

があるのではないか」。

竹内社長は、複数の同業者と共同で事業立ち上げを検討したが、採算面の難しさから降りる会社が続出し、結局、単独事業を決意した。



リサイクルできるものとそうでないものは手作業での分別も行われる

環境省がこのほど発表したごみ（一般廃棄物）の総排出量は五千五十九万トント、このうち再生利用率はわずか九百四十万トントすぎない。空き缶、ペットボトルは再生できるが、自分たちが購入者責任ではないだろ。

# 高純度のペレット状原料に

「買った人が飲みきるか、自分で排水溝に流せば問題ないんですけど、竹内社長。中身がたどえ水であっても事業者が扱えば排水溝に流すことはできない。ペットボトルの量が缶やビンを凌ぐ勢いで増えるに従い、そうした廃液の量も増加の一途。自分の飲み残したジュースが他人の手を煩わせている現状を知り、せめて中身を空にすることが購入者責任ではないだろ。

最近では空港、ホテル、工場、商業施設などから多くの空き缶が集まるようになつた。子供会が集め、誰の飲み残しとも分る。「何気なく捨てたゴミのつもりでも、生まれたままキャップを開めての工程を踏むことを知つて欲しい」と竹内社長。

工場を見学した人は、認識を改めて帰っていく。アルミが合計月間三百ドラム缶いっぱいの飲み残しの液体は、廃液として別の業者に処理を委託

## メモ

本社（美濃本社・工場）＝愛知県海部郡飛島村木場2ノ111  
△電話：0567-555-302  
3▽売上高＝5億円（06年12月期見込み）▽従業員数＝29人

（半田）

ペレットボトルが同百ト。飲料の需要が高まる夏場はさらに五割増しに膨れ上がる。

ところへ持っていくといふ声が多く、空き缶が集まらなかつた。当時、竹内社長は売上高の内訳を

六、七割が処理手数料、三、四割が再生原料の販

購入者責任  
販売者責任  
同社がこの事業化に乗り出したのは、取引先から

り出したのは、

工場内の手作業の分別